

【授業実践振り返りカード】

学校名 富士見小学校	1 学年
授業者氏名 沼田祐里奈	
題材名 「てかがみはみがきを しよう」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 毎日、歯みがき動画を見ながら歯みがきをしている子ども達が、手鏡歯みがきを知り、実際にやってみて、見ないで汚れをおとすことと、見て汚れをおとすことの違いを感じることを通して、手鏡歯みがきをして、自分の歯の汚れを見ながら歯みがきすることのよさを感じることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） クロームブックで作成した歯の汚れをおとす教材 手鏡	
成果 ・活動の中で見ない児童と、見た児童では汚れに差があったため、実際に鏡を見る児童が増えた。 ・鏡を見る姿も、奥の歯までよく見る姿が増えた。	
課 題 ・給食が遅い児童が、1～2名ほど全ての歯みがき時間が短くなってしまう。	

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名 富士見小学校	2 学年
授業者氏名 長田 文彰	
題材名 自分の歯を知ろう ～自分の歯はどんな歯かな？～	
主 眼 先月、うさぎさんの歯の状態を知った子どもたちが、自分の歯の状態や並び方に着目し、手鏡や歯科健診の結果を見て自分の歯の状態を色分けしたり、治療した歯に○をつけたりすることを通して、自分の歯の状態を知ることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・手鏡で自分の歯を見る ・令和6年度の歯科健診カード	
成 果 ・うさぎの歯並びと、自分の歯並びの違いに気づき、食べ物の違いからそうなったと考えた児童が多くいた。 ・自分の歯並びがおおよそ予想通りだった子どもが多く、「奥歯までしっかり磨きたい」という思いを強くすることができた。 ・自分の歯並びを知り、自分のこれまでの歯みがきの仕方に意欲をもったり、もっとしっかり磨こうとしたり、歯みがきの大切さを見つめ直すきっかけになった。 ・今までの歯科健診で、口を大きく開けて診てもらっていたが、どんな結果だったかあまり知る機会がなかったので、知ることができてよかったという児童が多くいた。今後の歯科健診で、どんな診察をしてくれるのかの見通しをもつことができた。	
課 題 ・歯科健診カードの見方が時間がかかりそう。子ども向けの簡単な歯を知る表を蓄積していけるとよい。 ・歯みがきの取り組みに個人差があるので、今回の色つけや○付けによって、給食後の歯みがきに集中して取り組めるよう、個別に声がけをしていきたい。 ・自分の歯への関心を高めたことで、違った形（図工・生活・体育など）への教科横断的な内容を考えていきたい。 ・学習したことを保護者への啓発につなげていきたい。	

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 丸山 晃輝	
題材名 「去年の歯と今の歯をくらべよう」	
主 眼<フォーマット> 前時で、2 年時に行った歯科健診の結果を見て自分の歯の状態を知った子どもたちが、健康な歯やむし歯、治療した歯などを歯の図に色分けしたり、歯垢や歯ぐきの状態について当てはまる状態に丸をつけたりすることを通して、2 年時の歯の状態を知ることができる。	
学習材 ・ R6 年度歯科健診カード（同じ色付けを行い、2 年時と 3 年時の歯を比べた）	
成 果 ・ 2 年時と 3 年時で比較することによって、永久歯が増えたことに驚いていた。 ・ むし歯が増えた児童もいて、永久歯のむし歯を治すためには、麻酔をしたり、歯を削ったり しなければならないことを説明したら危機感を覚えていた。 ・ 1 年間の歯みがきが足りないともし歯が増えることが分かった。	
課 題 ・ 歯みがきの重要性は分かっても、実践にうつせない児童がいることが予想される。 給食後の歯みがきに集中して取り組めるよう、個別に声がけをしていきたい。 ・ さらに、自分の歯への関心を高められるように、他教科と関連づけながら学びを深めていきたい。 ・ 治療率の低さは、富士見小学校だけでなく、富士見町全体としての課題でもある。 保護者の方の認識の低さでもある。それらのことを踏まえて、今後の活動の方向を子どもたちと探っていきたい。	

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名 富士見小学校	学年 4 学年		
授業者氏名 高橋 準			
題材名 「クラスの歯みがきについてふり返ろう」(学級)			
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。			
主 眼 児童集会で「歯」についての関心を高めた子どもたちが、自分たちの歯みがきの様子を客観的に着目し、ふり返ることを通して、歯に対する興味や関心をさらに培うことができる。			
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) 児童集会で全校が集まって「歯」について考える時間			
成 果 歯についての興味や関心を高める学習に適していると感じた。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 準 高橋準 8:40 4の2のはみがき(給食後) 麦 久田麦 8:43 かがみをもってはみがきしていない人がある 結仁 窪田結仁 8:43 歯磨きをしていない人がある。 </td> <td style="vertical-align: top;"> 兼司 丸山兼司 8:44 友だちとしゃべっていて歯磨きをしてない人がある 牙 土屋牙 8:44 手鏡歯ブラシをしていない人がたくさんいる 志穂 名取志穂 8:45 歯磨きにおくれてしまっているひとがいる </td> </tr> </table>		準 高橋準 8:40 4の2のはみがき(給食後) 麦 久田麦 8:43 かがみをもってはみがきしていない人がある 結仁 窪田結仁 8:43 歯磨きをしていない人がある。	兼司 丸山兼司 8:44 友だちとしゃべっていて歯磨きをしてない人がある 牙 土屋牙 8:44 手鏡歯ブラシをしていない人がたくさんいる 志穂 名取志穂 8:45 歯磨きにおくれてしまっているひとがいる
準 高橋準 8:40 4の2のはみがき(給食後) 麦 久田麦 8:43 かがみをもってはみがきしていない人がある 結仁 窪田結仁 8:43 歯磨きをしていない人がある。	兼司 丸山兼司 8:44 友だちとしゃべっていて歯磨きをしてない人がある 牙 土屋牙 8:44 手鏡歯ブラシをしていない人がたくさんいる 志穂 名取志穂 8:45 歯磨きにおくれてしまっているひとがいる		
課 題 今回はよくない状況に気づき、「歯」についての興味や関心を高める学習となったが、よい状況でもふり返ることで、ポジティブに興味や関心を高める学習にできそう。 また、事前に動画を撮っておけば、それが学習材として使えそう。			

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名 富士見小学校	学年 5学年
授業者氏名 赤堀万里子	
題材名 「 オーラルケアって何？ 歯について 考えてみよう。 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 町の取り組みとして、オーラルケアを大事にした活動を行っていくことを知った子どもたちが、「口の中のこと」「歯のこと」について知っていることを伝えたり、クイズで新たに知ったことを通して、歯に関心を持ち、自分たちの取り組みを考えていこうとする意識を持つ。	
学習材 ライオン 歯科衛生研究所	
成 果 オーラルケアとは、口の中の健康について考えることということを知り、自分たちが考える口の中の健康について目を向けることができた。自分たちが実践したことの中から、フロスやキシリトールガムが出された。クイズを通して、奥歯が一本なくなるとどれくらいの力が入らなくなるのか、口の中のプラークにはどれくらいの細菌がいるのかを知り、自分たちが日ごろあまり意識しないことも考えることができた。	
課 題 実践につなげるというところまではいっていないので、次の歯の学習では、自分たちの歯ブラシや歯みがきについて考えるようにしたい。	

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 大道 健人			
題材名 「生活習慣病の予防って？」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 日常的によく噛んで食べることが健康維持につながることを学んだ子どもたちが、生活習慣と健康促進の関係性に着目し、むし歯や歯周病になると健康にどのような影響があるのか話し合ったり手鏡で自分の歯や歯ぐきの様子を観察したりすることを通して、日常的によく噛んで食べるだけでなく、とくに磨きにくい部分に意識を向けて歯を磨こうとする態度や習慣を身に付けることができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・健康な歯ぐきと歯肉炎になった歯ぐきを比較する写真資料 ・むし歯や歯周病による健康への影響をまとめた教科書資料			
成 果 ・歯周病になりかけているような歯ぐき（赤みを帯びている はれている ぶよぶよしている丸く厚みをもっている）だとしても、磨き方や時間を工夫して毎日みがき続けることを習慣化していけば、健康な歯ぐきになることを知り、歯の健康を維持・回復しようと振り返る子どもが多かった。 ・他の生活習慣病やその予防法についても関心をもち、広く健康を捉えて考える子どもたちがいた。			
課 題 ・歯を磨く時間帯について、 ①夕食後すぐに磨くほうがいい。 ②夕食後、30分ほど経ってから磨くほうがいい。 ③就寝前に磨くほうがいい。 と、歯医者によって意見が様々であることが話題になり、医学的にどれがよいのか疑問が残ったままになった。			